

1. はじめに

2014 年に日本が国連の障害者権利条約を批准して以来、障害者差別解消法の制定をはじめとした国内法の整備が進み、各種の障害者施策の進展がありました。2024 年 4 月には、改正障害者差別解消法が施行され、事業者による合理的配慮の提供が義務化されるなど、条約が私たちを取り巻く社会環境の改善に大きな力となっていることを日々実感しています。

協会は、2025 年 2 月に大田区で「第 36 回東京都中途失聴・難聴者の集い」を対面のみで開催することができ、会場には皆さんの元気な笑顔が溢れていました。また、理事会、専門委員会、専門部、サークルの活動や各種の講座・講習会も参加者数がほぼコロナ禍前の状況に戻ってきています。関係者の努力でオンライン会議での要約筆記、ネットを活用した広報など、新たな知見も得られました。改めてご支援・ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げます。

協会は 2024 年度も聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉局との予算懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを実施し、東京都の情報アクセシビリティ施策への対策、要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実などを求めて活動しました。以下、2024 年度の協会の活動を、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と組織強化」に分けて報告いたします。

2. 協会の対外活動

2022 年 5 月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。多様なコミュニケーション手段を持つ中途失聴・難聴者にとっても、それぞれに適した補聴手段、ICT の活用などが図れるよう、情報アクセシビリティの環境向上につながることを期待されます。

東京都でも 2025 年 3 月に、同法と共通した理念を持つ「東京都障害者の情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例」（以下、障害者情報コミュニケーション条例）が制定されました。2025 年 7 月 1 日に施行される予定です。条例作成時のヒアリングには協会理事も参加しました。

東京都は各区市町村で身体障害者手帳を持たない高齢難聴者に補聴器助成を可能とし、高齢者の健康・社会参加を促進することを目的として 2024 年度から「東京都高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」が実施されています。2024 年度内に 23 区全てで実施されていますが、市部・島嶼部では半数以上が未実施です。また高齢者が対象であり、18 歳以上 65 歳未満で手帳を持たない中途失聴・難聴者には助成がない地域がほとんどのため、引き続き聞こえにくさを抱える全ての中途失聴・難聴者に助成が可能となるよう、取り組みが必要です。

また従来からの課題である東京都の意思疎通支援事業は、利用目的の公益性・広域性の要件が依然として維持されており、障害者団体の利用が制限され、協会の理事会や専門部の役員会などが利用の対象外となるなど協会活動を制約している状況は改善されていません。「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」は情報の個別性・同時性・地域格差の解消を基本理念に挙げています。東京都の「障害者情報コミュニケーション条例」もこの理念に沿った施策が盛り込まれています。協会では今後も東京都の意思疎通支援者派遣事業の見直しを強く求めていきたいと考えます。

一方、コミュニケーション学習においては、東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会、読話講習会、協会主催の中途失聴・難聴者手話講習会応用クラスや実践読話講習会などが対面で実施されました。

また、2024 年には各区市町村での手話言語条例の施行、聴覚障害者が活躍するテレビドラマや映画、2025 年 11 月に開催予定の世界的スポーツイベント「デフリンピック」などで、聴覚障害への関心は大きく高まっていますが、中途失聴・難聴者への理解はまだまだ深まっているとはいえない状況です。中途失聴・難聴者の困難さを周囲や社会に伝えていくことは、協会の大きな役割です。その活動の柱となる「耳マーク」普及については、東京都の交通機関で「耳マーク」掲示の進展やコンビニでの「耳マーク」の活用などの試みがある一方、都庁・各区市町村施設での「耳マーク」の普及は依然として不十分な状況が続いています。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求め、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備を福祉のまちづくりの大きな動きにしていけるために、「耳マーク」と「ヒアリングループマーク」を一体とした普及活動をさらに継続する必要があると考えます。

3. 協会の対内活動と組織強化

3. 1 対内活動と組織強化

協会は2023年5月に役員改選を行い、役員研修などを通じて協会活動に対する役員の理解を深め、理事会のもとに4つの専門委員会と6つの専門部を設けて活動しています。

2024年度は、2月に「第36回東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催しました。また、「地域難聴者コミュニケーション啓発講座」や「高齢難聴者生きがい講座」の開催を継続することができ、毎年実施してきたこれらの企画が、中途失聴・難聴者の交流を重ねる「場」として非常に重要なものであることを再認識する一年でした。この成果を踏まえ、2025年度もこれらの企画が充実した形で実施することができるよう準備を進めてまいります。

一方、協会の組織面では、協会の2024年度末の正会員の数が前年比13人増の505人となったのは喜ばしい話題です。コロナ禍の期間中は、講座・講習会受講生への入会働きかけが難しかったこと、地域の中途失聴・難聴者団体・関係団体との交流が停滞していたことなどで、数年間会員数の減少傾向が問題になっていました。まだまだ協会活動の社会的な発信が十分でない状況は否めません。会員の減少は協会の財政への影響にとどまらず、青年部・要約筆記部の休部など協会の活動にも深刻な影響をもたらしています。引き続き会員減少への対策を、2025年度の協会活動の最重要課題として取り組んでまいります。

3. 2 協会財政

決算報告にあるとおり、2024年度は1,267千円の赤字決算となりました。当初予算は1,498千円の赤字でしたが、各事業支出を抑えたり、皆さまからの寄付金など様々な形でご協力いただけたことが赤字幅を縮小できた要因となっています。協会財政安定のために「変動費(事業費)は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当する」必要性に変化はなく、財政面からも引き続き会員の増加が課題となりますが、あわせて新たな収入源の確保を2025年度の協会の課題として考えていかなければなりません。

4. まとめ

2024年度はコロナ禍の影響から脱しつつありましたが、安心して対面で交流したり、コミュニケーション学習することを期待する会員の皆さまのご希望に十分応えきれていないとはいえず、このことが会員数の減少にみられるように、協会の存在意義を問われる状態が続いております。理事会や専門委員会・専門部では対面・オンライン等での活動実績を積み上げながら、会報「協会ニュース」や協会ホームページ等を通じて協会活動を社会へ発信する努力を行っております。

予期せぬ自然災害や人道上的緊急事態が、会員の皆さまの毎日の生活や協会の活動に様々な影響を与えることも予想されます。このような状況への対応には、会員の皆さま、役員一同が力を合わせる何より大切と考えます。様々な課題を抱えた協会ですが、2025年度の協会への会員の皆さまのご支援を改めてお願いする次第です。

2024 年度事業報告(一覧)
(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ 人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	2024 年 12 月 1 日	早稲田速記医療福祉専門学校	60
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	337
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 6 回	YouTube 限定配信	365
	実践読話講習会	年 17 回	東京都障害者福祉会館	244
	地域難聴者コミュニケーション啓発講座	年 3 回	東京都障害者福祉会館 他	63
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 20 回	東京都障害者福祉会館	571
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回	東京都多摩障害者スポーツセンター	377
	例会	年 12 回	東京都障害者福祉会館 他	403
	高齢者対象「手を動かそう」	年 12 回	東京都障害者福祉会館	132
	講師等派遣	中途失聴・難聴者向け手話指導者養成コース・中野区中途失聴・難聴者の会・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」・品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」・中途失聴・難聴者「つばさの会」府中 他		25
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集・提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	165
	協会ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	17
	第 36 回東京都中途失聴・難聴者の集い	2025 年 2 月 8 日	大田区産業プラザPiO	257
中途失聴者・難聴者に係る相談・支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 9 回	東京都障害者福祉会館	118
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	23
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	108
中途失聴者、難聴者の文化、芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	2079

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(8 か所 9 台)

東京都庁第一本庁 4 階南側・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)・東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所・東京都中川水再生センター・東京都中央卸売市場食肉市場

2024 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長：宇田川芳江 職員：石川千鶴・石田豊子・橋本美和(3月から)・松枝朋美
(退職)千羽荘一・福本佳永子・飯村和美

2. 活動報告

- ・理事会 4/20、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、11/30、12/21、1/25、2/15、3/22
- ・東京都福祉局との懇談会 7/18(17名)
- ・人工内耳に関する講座 12/1(午前27名、午後33名)
- ・「字幕付胃検診」受付 10/5(12名)
- ・協会ニュース発送 毎月第2金曜日 12回
- ・「第54回耳の日記念文化祭」参加 2/23・24
- ・TOKYO みみカレッジ 2024 参加 11/23(会員協力5名)
- ・事務局会議 4/15、5/20、6/17、7/29、10/21、11/18、1/20、2/17、3/17
- ・例会 毎月第4日曜日 12回

実施日	内容	参加者数
4月28日	2024 年度事業説明会	24
5月26日	通常総会	398 (出席 51)
6月23日	私の作品展とマルシェ	37
7月28日	谷千春氏講演会「難聴者が楽しく手話を身につけるには」	42
8月25日	藤谷弘晃氏講演会「難聴者運動や要約筆記の歴史とこれから」	46
9月22日	大沼直紀氏講演会「聴覚障害者の聴覚補償・情報保障の変遷」	25
9月29日	谷千春氏講演会「難聴者が楽しく手話を身につけるには」(多摩)	38
10月27日	新入会員説明会&歓迎会	40
12月22日	クリスマス会	48
1月26日	三浦先生の歌い方教室&私が伝えたいこと	25
2月8日	第36回東京都中途失聴・難聴者の集い	257
3月23日	もっと知りたい補聴器	27

・研修協力

- ①東京純心女子中学校 総合学習「NPO 探検隊」インタビュー(8/1、8/19)
- ②ヤマト運輸株式会社 人材開発部 EX 推進課インタビュー(12/22)
- ③東京都登録要約筆記者の会(登要会)研修会(11/18、3/17)
- ④東京都要約筆記者養成講習会現場実習(1/30、2/6)

・その他

- ①東京都スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業
「スマートフォン活用支援プログラム」受付(10/4、10/18、11/1、11/15)
- ②東京都多摩障害者スポーツセンター「障害者週間記念事業」(12/8)
- ③文字表示電話サービス「ヨメテル」説明会(3/2)

事業委員会

1. 体制

委員長：宇田川芳江 委員：石川千鶴・小川光彦・前川信・丸山由美子

2. 活動報告

委員会開催 5/7、7/2、9/17、10/22、11/19、12/17、3/18 いずれもオンラインで開催
行事協力 9/29、3/2

3. 事業報告

I 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座
- ③ 地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕
- ④ 地域難聴者コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)

II 協会受託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1) 聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会受託事業)

III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1) 手話講習会応用クラス多摩

(2) 高齢者対象「手を動かそう」

4/8(10名)、5/13(8名)、6/10(11名)、7/8(11名)、8/12(13名)、9/9(10名)、10/14(10名)、
11/11(10名)、12/9(12名)、1/13(10名)、2/10(14名)、3/10(13名)

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1) 東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)

(2) 東京都読話講習会

(3) 東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)

(4) 講師等派遣事業

- ・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」(5/19 から年 6 回)
- ・東村山要約筆記サークル ゆいま〜る(6/4)
- ・松戸市要約筆記奉仕員研修会(6/25)
- ・東京都手話通訳等養成講習会
 - 手話指導クラス I (奉仕員養成)(7/10 昼・夜)
 - 地域通訳者クラス(7/24 昼・夜)
 - 手話通訳者実践クラス、手話通訳士実践クラス(7/24 昼・夜)
- ・品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」(7/13)
- ・東村山市社会福祉協議会(10/25、11/1、11/8)
- ・中途失聴・難聴者「つばさの会」府中(10/26)
- ・中野区中途失聴・難聴者の会(11/6)
- ・品川区要約筆記啓発講座(11/8)
- ・中央区要約筆記啓発講座(1/14、1/21、1/28、2/4)

広報委員会

1. 体制

委員長:石川千鶴 委員:小島敦子・村田美和・安井彩乃 オブザーバー:皆川みさ子

事務局:宇田川芳江

2. 活動報告

(1) 委員会開催

4/9(中止)、5/14、6/11、7/9、9/10、10/15、11/12、12/10、1/14、3/11 全 9 回 いずれもオンラインで開催
6 月例会マルシェの運営を事務局とともに担当

(2) 協会ホームページ

- ① フェイスブックとホームページの連携を図った。トピックや新着がいち早くアップされるため、申込数に好影響となっている。
- ② バナーの「巻頭言」を「協会ニュースから」と変更した。
- ③ リンク集の整理を検討した。
- ④ ショッピングカートの更新作業は進んだが、送料の規定を事務局が検討中。

(3)会報「協会ニュース」

- ①会報編集部と編集作業の見直しを進めた。32 ページ必須でなく 28 ページでも可とし、会報編集部の負担を軽減した。
- ②パソコン操作が苦手な会員にも情報が届くよう、主な記事の閲覧手順を掲載した。

■ 防災委員会

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:生田真弓・前川信・米倉光代

2. 活動概要

協会定款第4条「災害救援活動」、第5条「緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業」の具体化の活動を行った。

3. 活動詳細

- ①2024年6月30日組織部と共催で地域コミュニケーション啓発講座「スマホで災害に備えよう」を実施した。
- ②協会10月例会で、2024年度の防災委員会の活動を紹介した。
- ③「中難協防災LINE公式アカウント」を継続して運用した。

4. 活動報告

- (1)委員会開催 4/24、5/22、6/19、7/24、8/28、9/25、2/26、3/26 いずれもオンラインで開催

■ コミュニケーション委員会

1. 体制

委員長:皆川みさ子 会計:小谷野依久 委員:石川千鶴・安井彩乃・渡辺江美

2. 活動報告

- (1)委員会開催 原則第3水曜日夜
4/17、6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/18、2/19、3/19 いずれもオンラインで開催
- (3)「難聴者に伝えるために」～要約筆記がつく場面で～を作成し、ホームページに掲載
- (4)筆談パンフ作成。イベントなどで配布
- (5)協会例会協力 3月例会「もっと知りたい補聴器」

■ 要約筆記部(休部)

■ 福祉対策部

1. 体制

部長:小谷野依久 副部長:田村玲子・渡辺究

部員:青木典子・稲井泰子・鈴木雅弘・西山萌・橋爪由利・南由美子

オブザーバー:小川光彦

2. 活動報告

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月25日*	ゆるプチ学習会 「障害者基本法」	51	10月25日*	部会	5
6月21日*	ゆるプチ学習会 「聴覚障害者の参政権」	21	11月26日*	部会	5
6月30日	部会	6	12月8日	部会	10
7月27日	部会&相談会	7	1月16日	体験部会JCVケンウッド	7
9月12日*	ゆるプチ学習会 「中等度難聴者の就労」	22	3月26日	体験部会ナイトガーデン オーラキャスト体験Better社	26

10月23日	企業協力 ファミリーマート	3	3月28日*	ゆるプチ座談会 「ミュージアムの情報保障」	21
--------	---------------	---	--------	--------------------------	----

6月30日、7月27日、11月26日、1月26日、3月26日は東京都障害者福祉会館

10月23日はファミリーマート新宿スポーツセンター

*印はオンライン開催

■ 手話対策部

1. 体制

部長：石川千鶴 副部長：中村貴子 会計：芦川君代

部員：五十嵐郁子、池田ひろみ、市川珠江、入野雅子、内山伸子、大堀亮子、柿崎栄子、掛水泉、河合優子、神尾優子、北島恵子、国吉玲子、久保寺美華、小須田希海、小林道子、小谷田路代、志村瞳、神保美穂子、副島香絵、地引千恵子、長沼知子、中野徳代、中村麻子、新実文、原島美江、藤本澄子、丸山ききょう、丸山利江、森利恵子、安井彩乃、山田恵美子、ランダース聡子、和田すが 36 名

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月15日*1	部会	25	10月13日	ミニ手話講座(三田)	29
5月13日*2	部会	24	10月21日*1	部会	17
6月10日*1	部会	20	11月11日*2	部会	15
7月8日*2	部会	20	12月1日	ミニ手話講座(多摩)	35
7月28日	協会例会担当	57	12月8日	障害者週間記念事業協力	6
8月4日	部内研修・部会	18	12月9日*2	部会	21
9月9日*1	部会	17	3月17日	部会	16

*1は東京都障害者福祉会館とオンライン、*2は東京都多摩障害者スポーツセンターとオンラインのハイブリッド開催
8月4日、12月1日、12月8日は東京都多摩障害者スポーツセンター

- ・役員会 3名：4/8、6/10、10/13、12/26(オンライン) など
- ・ミニ手話講座 打合せ：8/25(6名)、9/24(10名) など
- ・テキスト「豊かなコミュニケーション」改訂会議：6/16(4名)、8/8(4名)

■ 会報編集部

1. 体制

部長：小島敦子 会計：山田恵美子 部員：岩崎幣介・菅波尚子・滝沢佳子・橋爪由利

2. 活動報告

(1) 会報「協会ニュース」の編集

①編集会議 頁構成・投稿原稿校正・作業スケジュール・特集・不足原稿などの確認、企画についての話し合い。

・オンライン会議 4/13、5/11、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、3/8 全 11 回
2 月は集いのためメール会議

②初校校正 原稿の確認、修正、レイアウトなどの最終確認作業。 場所：くにたち公民館 他
4/24、5/29、6/26、7/24、8/28、9/25、10/23、11/27、12/25、1/29、2/26、3/26 全 12 回

■ 組織部

1. 体制

部長：前川信 副部長：井桁洋子・丸山由美子 会計：青木房子

部員：有馬富江・岩崎幣介・上村直美

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月13日	部会(見学1)	7	10月29日	ネットワークニュース132号発行	
4月26日	ネットワークニュース130号発行		11月9日	部会	5
5月11日	部会	6	11月30日	地域コミュニケーションコミ啓発講座「地域懇談会」	23
6月8日	部会	7	12月14日	部会	7
6月30日	地域コミュニケーションコミ啓発講座「防災アプリ講座」	32	12月27日	地域コミュニケーション啓発講座会場下見	3
7月13日	部会	6	1月11日	部会	7
7月26日	ネットワークニュース 131 号発行		1月24日	ネットワークニュース 133 号発行	
8月3日	部会	6	2月1日	部会	7
9月14日	部会	6	2月22日	地域コミュニケーションコミ啓発講座「読話講座」	29
10月22日	部会	7	3月8日	部会	6
10月27日	協会例会担当 「新入会員説明&歓迎会」	59			

6月30日はタワーホール船堀 2月22日は東小金井マロンホール

実年部

1. 体制

部長: 中村麻子 副部長: 皆川みさ子 会計: 長澤道代 部員: 小笠原晶子・長沼知子・山下和子

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
5月22日	6月企画カメラマンと打合せ	2	11月29日	11月企画「福よ来い! 来い! 熊手を作ろう」	13
6月21日	6月企画「あなたのポートレート撮影会」	13	11月29日	部会	6
6月21日	部会	5	2月17日	部会	5
8月24日	9月企画・事前講習	4	2月17日	3月企画レストラン下見	3
9月20日	9月企画「いろがみ・千代紙で小さなお菓子の箱づくり」	10	3月9日*	3月例会「イタリアンランチと字幕付き映画鑑賞」	20

3月9日はランチ:「青いイタリアン」港区芝大門 字幕付き映画鑑賞: ヒューマンふらざ

女性部

1. 体制

部長: 明田美奈子 会計: 佐藤緑 記録: 高田香苗

部員: 今井節子・大江千枝・小須田希海・寺田由紀子・峯元弘子

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月6日	部会	5	9月7日	部会・9月企画「コグニサイズ健康教室」	25
6月1日	部会	4	10月5日	10月企画「ヨガ教室」	13
6月8日	6月企画「ヨガ教室」	19	12月7日	部会	5
7月6日	部会	6	12月22日	協会例会協力「クリスマス会」	5
7月22日	生きがい講座協力	5	2月1日	2月企画「講演会 那須元樹氏」	29
8月3日	部会	4	3月1日	2月企画「折り紙を楽しもう」	6

■ 青年部（休部）

■ サークル

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:石川徳衛 会計:川村恵子 総務:清水智恵子・長尾征子
サポートスタッフ:加藤道子・金森滯子・山本慶子 会員数:25 名
2. 活動日時 毎月第 2 土曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
毎月第 4 土曜日 10 時～11 時 30 分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 五十嵐郁子氏
5. 活動報告 ・手話学習は毎月 2 回、20 回開催した。
・12 月はクリスマス交流会を行った。(内容:五十嵐郁子講師考案の手話ゲーム、役員による都道府県あてクイズ、じゃんけん大会のほか、会員のピアノ伴奏で「赤鼻のトナカイ」を手話で歌った)

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:渡辺美恵子 会計:山本慶子 総務:前田喜久子・室容子 監査監事:鈴木蘭子 会員数:17 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 土曜日 18 時～20 時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 宮本正明氏
5. 活動報告 手話学習会を年間 20 回、交流会を 1 回開催し、会員の親睦を図った。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:牧本恵美子 副代表:志村瞳 会計:秋山孝子 会員数:16 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 ・講師学習日:4/11、5/23、6/13、7/11、9/12、10/24、11/14、12/12、1/9、2/13
・その他:7/25(交流会)、12/19(クリスマス会)、3/13(反省会)
・講師の課題にそって楽しく学習した。

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:岩下敏美 総務:大堀亮子・渋谷靖子 庶務:新井京子 会員数:22 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 火曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
※原則として東京都多摩障害者スポーツセンターだが、休館日や会場が取れない場合は、立川近辺の会場にて開催
4. 講師 真藤千枝氏
5. 相談役 本橋由美子氏
6. 活動報告 ・講師学習会:
真藤講師学習 4/16、5/7、6/4、7/2、9/3、10/1、11/5、12/3、1/21、2/4、3/4 計 11 回
本橋相談役学習 5/21、7/16、9/17、10/15、2/18 計 5 回
・役員会:11/15、11/19、12/3、12/17、3/20
・その他:4/2(総会)、12/17(クリスマス会)
・休会:6/8(大雨予報のため)、8 月(夏休み)、1/2(年始)

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:堀川すみれ 副代表:渡辺美恵子 会計:宮脇百合子 会員数:14 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～16 時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏
5. 活動報告 毎月講師の課題に沿って進めます。絵手紙だけでなく、版画・ハガキ入れ等、季節に合った課題を工夫し指導してくれました。また、「高齢難聴者生きがい講座」に参加、「東京都中途失聴・難聴者の集い」に絵手紙を展示、協会例会「マルシェ」でも絵手紙体験や会員の得意とする物を展示発売し、売り上げを運営費に充てました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:高山美穂 会員数:7名
2. 活動日時 毎月第1水曜日 ただし、12月はお正月花生け込みのため三田障館利用最終日になりました。
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 2024年度も12月開催の「いけばな展」を拝見し勉強になりました。2月8日開催の「東京都中途失聴・難聴者の集い」に出展したため、3月22日、23日開催の「耳の日記念文化祭」を断念しましたが、2025年度は是非出展したいと思います。

【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 副代表:清水智恵子 会計:古郡恵子 会員数:11名
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 三宅初穂氏
5. 活動報告 4/3(10)、4/24(7)、5/1(10)、5/22(8)、6/5(9)、6/26(7)、7/3(10)、8/28(9)、9/4(9)、9/25(7)、10/2(10)、10/23(7)、11/6(11)、11/27(8)、12/4(9)、1/22(6)、2/5(11)、2/26(5)、3/5(8)、3/26(7)
*()内は参加者数
第1水曜日の三宅講師の学習会は参加者も多くみなさん熱心です。自主学習会で手話勉強会をやったり、イベントで椅子体操・つまみ細工や浜離宮散策をしたりもしました。

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:芦川君代 会員数:18名
2. 活動日時 毎月2回 月曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・オンライン
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 ・講師指導:5/27、7/22、9/30、11/25、2/17
・対面学習:4/22(総会)、6/24、8/26、10/28、12/23、1/27、3/4、3/24
・オンライン:4/1、5/13、6/3、7/1、9/2、10/7、11/11、12/2、2/3、3/3

【多摩手話コース「てと〜て」】

1. 体制 代表:滝沢佳子 副代表:牛窪睦 会員数:14名
2. 活動日時 毎月第1・第3木曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 小金井市婦人会館・東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 活動報告 4/4、4/18、5/2、5/16、6/6、6/20、7/4、7/18、8/1、8/15、9/5、9/19、10/3、10/17、11/7、11/21、12/5、1/16、2/6、2/20、3/6
東京都多摩障害者スポーツセンターのロッカーが使えるようになり、パソコン要約筆記用の荷物が置いてより活動しやすくなりました。2024年度は国分寺市の殿ヶ谷戸庭園への散策、茶話会など屋外活動もあり会員同士の交流も深まりました。恒例の自己紹介を兼ねたスピーチはたまにしか参加できない会員もいるのでお互いを知る機会となり、コミュニケーションにも役立つので、これからも続けていきたいです。

【多摩読話サークル】

1. 体制 代表:浅沼久美子 副代表:吉川恵津子 会計:竹島茂子 会計監査:小張幸子
総務:近藤好子・山内ふみ子 庶務:惣田泰正 相談役:小島敦子 会員数:16名
2. 活動日時 毎月第1・第3金曜日 10時～12時
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター、立川市子ども未来センター
4. 講師 三宅初穂氏
5. 活動報告 昨年(2024)の春先に立ち上がり、月に2回(第1・第3金曜)活動日があり、内1回(第3)は読話講師による学習を行っている。12月より中難協のサークルとして承認を受け、現在に至る。現在までの学習回数は講師学習(10回)・会員相互による自主学習(9回)の合計19回。互いの口形や読み取り方などを学ぶとともに、学習活動を通して会員同士の交流を深めている。